

一 般 質 問

平成30年3月2日（金）

9 番 片 平 一 義 議 員

1. 社会保障制度の基本的な考え方について

①選択と集中をどのように進めていくのか、市長の考え方について伺う。

2. 厚田区・浜益区の文化財調査活用事業について

①来年度事業として予定されている調査について伺う。

3. 子母澤寛没後50年について

①本市として記念事業をする考えはないか伺う。

4. 古民家、旧山谷家住宅群再生について

①古民家再生と農泊事業について伺う。

②五の沢・高岡地区の体験型観光について、市長の考え方を伺う。

2 番 阿 部 裕 美 子 議 員

1. 食品ロス削減の取り組みについて

①行政側が主体となって取り組む事について

2. 知的障がい児に対する支援の拡充について

①知的障がい児に対するおむつ代助成について

②助成対象者に指定ゴミ袋を無償交付する事について

3. 介護・看護の充実に向けて

①在宅医療充実の為の整備について

②介護・医療従事者の確保について

イ. 潜在介護・医療従事者の復帰について

ロ. 外国人実習生の登用について

③介護ロボット導入の支援について

④徘徊者早期発見の為の、ステッカーを活用する事について

4. 学校での心肺蘇生教育の普及推進について

①児童・生徒の心肺蘇生教育について

②教職員の心肺蘇生の訓練と関係機関との連携について

1. 行政改革2021とSDGsについて

- ①行革2021は本年度よりスタートしたが、実施計画の本年度分の達成率はどうか。
- ②活力ある組織づくりとして、人材育成やコミュニケーション能力の向上等には、どう取り組んできたのか、また今後の方向は。
- ③市政情報等の発信力の向上対策の取り組み方はどう進めるのか。
- ④まち・ひと・しごと総合戦略や行革の中で、国が進めているSDGsをどう認識し位置づけていくのか、新年度に取り組む方向は何か。

2. 公文書について

- ①公文書とは何か、その定義や電子文書等の取り扱いは。
- ②新年度予算での調査事業の内容と目的は。
- ③公文書管理条例を制定する考えはないか。

3. TPP11及び日EU-EPAについて

- ①市内農業への影響をどの様に試算しているのか。
- ②市としての対策はどう考えていくのか。

4. 生活保護について

- ①生活保護基準の見直しをどう受け止めているのか。
- ②石狩市での利用世帯への影響はどのような見通しなのか。
- ③準要保護、就学援助等へは影響が及ばないように対応すべきではないか。
- ④級地の見直しはどういう状況なのか。

5. 教育行政について

- ①学校での働き方改革について、国、道の方針にどう対応する予定か伺う。
- ②小、中一貫・義務教育学校の特色と課題について、どのような方針で取り組むのか伺う。
- ③通学路安全プログラムの具体化について、紅南公園横の安全対策等の検討は。

1. 小型風力発電建設の規制の考えについて

- ①厚田区で複数の小型風力発電事業者が「小型風車を余っている土地に建てませんか」などと個別訪問して回っているが、これまでに市役所にどのような問い合わせが、だいたい何社からあるのか。また、市民の中には、すでに契約したり、自分の家の近くにも建つのではないかと不安な方もいるようだが、市民からはどのような相談が何件くらい寄せられているのか。雪解け以降、何基ほどの小型風力が厚田に建つと担当課として見込んでいるのか。

- ②新聞報道では、F i t法で小型風力発電の買い取り価格が下げられる前の駆け込み設備申請の増加であり、他市町村では突然民家の近くに建つことで、騒音などで住民とのトラブルにも発展していると報道されている。風況が良く大型風車を持つ宗谷・留萌のほぼ全ての自治体が、来春からの小型風車の建設ラッシュを見越し、ガイドラインや条例の策定を大急ぎでしている。稚内市は、昨年12月議会で可決した条例で、小型風車は住宅から100m離すこととしたが、担当者は「稚内は風力推進であるが、それより優先されるのは市民の安心。事業者からのクレームもあったが、あくまで市民側に立った」とのことだった。何の規制もない中では厚田区においても、土地を売りたい住民とそこで暮らし続ける住民、または住民と事業者の間で同様のトラブルが想定されるが、石狩市では規制を検討していないのか。また検討した結果そのような規制はつくらないなら、その理由を伺う。
- ③事業者が申請した状況を、立地自治体にはつかみきれず、認定後初めて知るのでは遅いのではないかと。国に申請段階で情報の開示を求める考えはないか。
- ④稚内市声問地区では、一般住宅前の空き地に事業者が資材を搬入しはじめて風車が立つことを知り、住民が市にすぐに苦情を入れて、町内回覧が回り、事業者説明会が開かれた。結果、町内会長から建設反対の決議書が事業者に渡され、12月に「100m離す」条例ができたこともあり、その計画は頓挫した。このように事業が認定された事業者には、設置工事前に近隣住民に説明会を実施させる必要があると考えるがいかがか。
- ⑤稚内市の西浜地区では、京都市の「テンフィールドファクトリー株式会社」が、事業計画認定がまだ下りていないのに6基の工事を開始し、住民説明会で反対を受けて中断した状態である。この同じ事業者のHPには、すでに石狩市内の土地34か所、3kW計192基が土地付き風力発電の販売情報として掲載されている。これらもまた稚内のように申請中のものなのか、周辺住民への説明はしないのかなど不安である。このことを担当課として把握しているのか。どう対応するのか。
- ⑥この小型風力は、F i t法で20年間、1kWあたり55円で売電できるものとして利回りのいい個人投資として売られているが、実際は北海道の経済産業局への事業申請に事業者の財政状況のチェック事項はなく、会社が倒産したり継続できなくなったときに、メンテナンスがされない故障風車そのままに放置される恐れがある。その際に、自治体が撤去費用などを持つ事態になるのではないかと。条例で、住宅からの距離、騒音の基準を持つとともに、市長権限で建設時に撤去費用を先に預かるなど検討すべきではないか。

2. 非正規職員の待遇改善について

- ①2020年度4月から施行される「会計年度職員制度」の導入に向けて、新年度は、配置、雇用状況の再点検と正規職員への配置転換、同一労働・同一賃金を踏まえた処遇改善などを詰めていく必要があると考えるが、フルタイムとパートタイムの間で新たな待遇差が生まれることや、雇い止めの不安は何一つ解消されないなど問題も多い。どのように取り組むか伺う。
- ②非正規職員と正規職員の待遇格差は、公務災害補償に関する差別的取扱いにも見られる。「石狩市議会の議員その他非常勤職員などの公務災害補償等に関する条例」の第4条では、非正規職員またはその家族は、公務災害の請求権を持たず、公務災害の認定は「実施機関」となっている。正規職員同様に、非正規職員を守護として申請権を持つことを明記すべきと考えるがいかがか。

1. スペシャルオリンピックス2020年冬季札幌開催について

①去年の3月に質問致しました、スペシャルオリンピックスが札幌開催決定となりました。札幌に隣接する自治体に協力要請など今後動きがあると思いますが、今現在で道から要請などの話がきているか伺います。

2. 高齢者ドライバー対策について

①近年高齢者ドライバーによる痛ましい事故が、増加傾向にあります。そこで本市の現状を伺います。65歳以上のドライバー、更に、うち75歳以上のドライバーは何名か（実際にペーパードライバーではなく運転している方、ホリデードライバー含め）。生活で活用している方の実数をお示してください。また市で調査しているのかもしくは公安委員会と連携して状況の把握に努めているかも合わせて伺います。

②高速道路逆走やブレーキとアクセルの踏み間違いなど、想定外の事故が連日のようにテレビニュースにあります。市内において運転操作のミス（認知症の疑い）の過去5年間推移の事故件数を伺います。また主な事案についてどのような事故か説明も合わせて伺います。

③免許証の返納した方の過去4年推移を伺います。また、今後において返納者に対して何か行うかも伺います。

④運転操作のミス、主にはブレーキとアクセルの踏み間違いについて、その誤操作を抑制する機械が多数開発されていますが、本市においてそれらの機械購入者もしくは、道内初では浦河町が、新車購入時「サポカーS」5万円補助など行っていますが、本市は何か取組む予定がないかを伺います。

3. 市有林の間伐材利活用について

①自然豊かな本市には市有林も多く、間伐もちゃんとしていると伺っています。しかしながら、間伐材は一部活用できているが、伐採し腐らせていることも多いと聞いていますが、予算をあまりかけずに利活用をすることも重要かと思いますが、考えを伺います。

4. 統廃合後の廃校の利活用について

①歴史価値の高い円形校舎は、検討委員会を発足し検討とありましたが、3年後には合計5校廃校と聞いていますが、利活用がかなり困難な学校もあると考えます。夕張市の様に企業に無料で事務所として使用してもらい、但し建物の維持管理・除雪含めて担ってもらい、建物が傷まないように管理してもらい。学校は利用しなくとも避難所などにあたっており、除雪など維持管理費用が発生するのであれば、維持管理を安く、場合によっては売却も検討すべきと考えますが、考えを伺います。

5. デジタル教科書について

①働き方改革ということで、様々な努力がされています。しかしながら、先生方は今も夜遅くまで残り、お仕事を頑張っているのが現状です。4～5名の先生からリサーチして石狩管内の中学校で、導入されていて、作業面でかなり効果的な物は何かを尋ねたところ、翌日の授業の教

材準備は結構時間がかかるので、デジタル教科書があると1日30分以上短縮になるとの事でした。現在目でわかるように動画を見せての説明が多く、デジタル教科書は、クリックすると20～30秒で内容の説明動画が流れる、そのため解りやすい。本市も検討してみてもいいか、考えを伺います。

6. サイクリングを絡めた観光について

- ①先日市長の執行方針にもありましたが、これからの成長産業は観光産業とありましたが、同感です。風光明媚な本市を理解してもらうには、車よりもサイクリングは良いと思います。しかし訪れる動機づくりが必要です。国内外の観光客へのアプローチは、どのようにお考えなのか伺います。
- ②世界的な大手自転車メーカーでは、以前北海道でイベントを行っており、3日間程度でしたが自転車イベントを行っていました。残念ながら石狩はルートからは外れていましたが、そういったイベントにも果敢に営業をかけることも重要だとおもいますが、考えを伺います。ちなみに北海道サイクルツーリズム（開発局）などにも掲載されていると聞いていますが、今後の展開について伺います。

7. ふるさと納税について

- ①昨年最終的な実数をお示ください。件数と人数と金額を伺います。
- ②本来無かった収益を得た訳ですが、その寄付された善意のお金は来年度何に使用されるのか、今回の予算のどの部分なのかをお示ください。寄付の使用用途の内訳もお示ください。